

イーストスプリング・  
インド公益インフラ  
債券ファンド  
(毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

作成対象期間 2023年1月11日～2023年7月10日

(毎月決算型)

第95期 2023年2月10日決算 第98期 2023年5月10日決算

第96期 2023年3月10日決算 第99期 2023年6月12日決算

第97期 2023年4月10日決算 第100期 2023年7月10日決算

(年2回決算型)

第17期 2023年7月10日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名: インド公益債

第100期末	基準価額	9,039円
	純資産総額	32,693百万円
第95期～ 第100期	騰落率	10.7%
	分配金合計	270円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名: インド公益2

第17期末	基準価額	14,600円
	純資産総額	11,774百万円
第17期	騰落率	10.8%
	分配金合計	0円

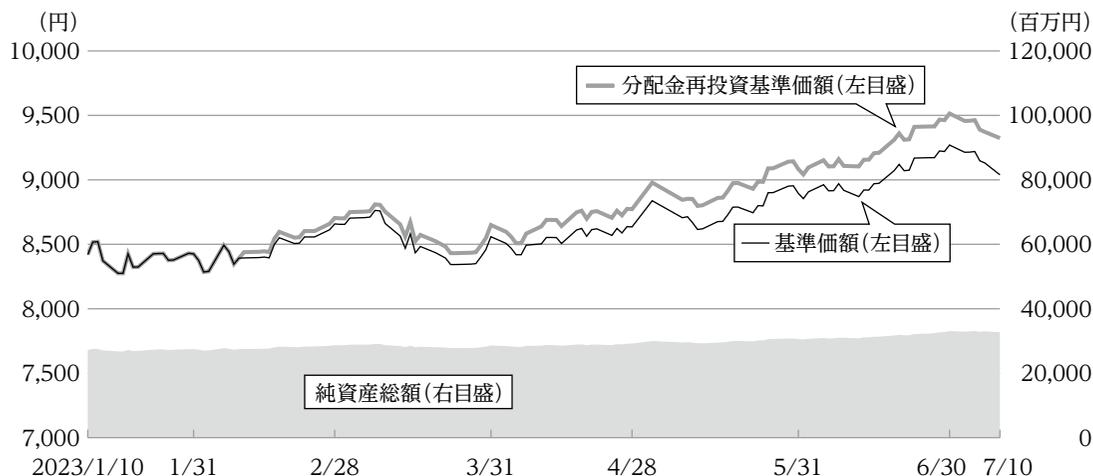
(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2023年1月11日～2023年7月10日)



第95期首	8,420円
第100期末	9,039円 (既払分配金270円)
騰落率	10.7% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

## 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・インドルピーが対円で上昇したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2023年1月11日～2023年7月10日)

項目	第95期～第100期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	73円	0.840%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、8,740円です。
(投信会社)	(36)	(0.409)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.409)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.017	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	( 0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	74	0.857	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

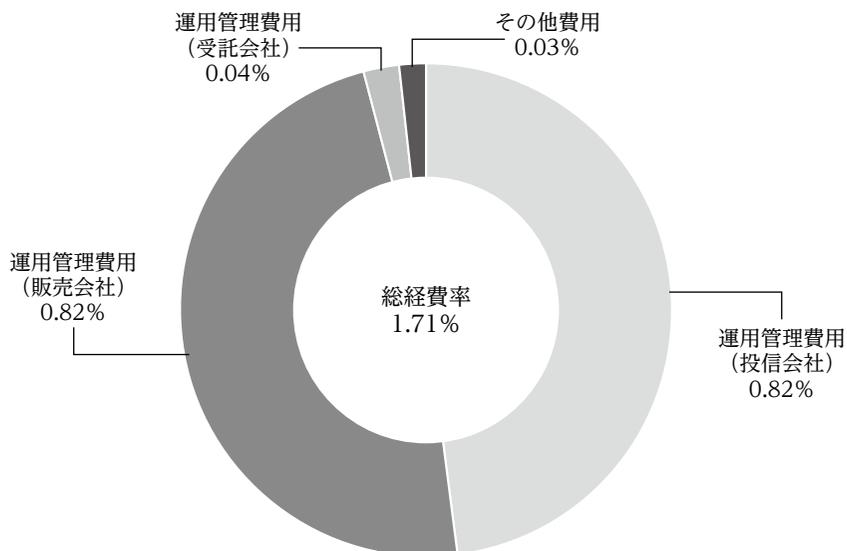
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## (参考情報)

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



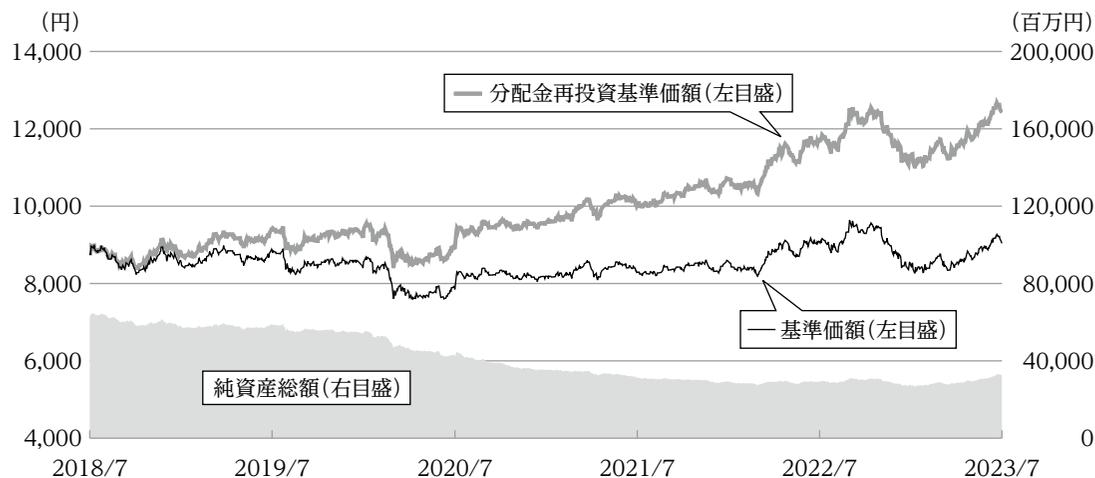
(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2018年7月10日～2023年7月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年7月10日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2018/7/10	2019/7/10	2020/7/10	2021/7/12	2022/7/11	2023/7/10
基準価額	(円)	8,791	8,843	7,849	8,295	9,047	9,039
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	540	540	540	540	540
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	7.1	-5.2	12.8	16.2	6.2
純資産総額	(百万円)	63,371	58,747	42,331	31,241	29,213	32,693

\*当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2023年1月11日～2023年7月10日)



第17期首	13,179円
第17期末	14,600円 (既払分配金0円)
騰落率	10.8% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

## 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・インドルピーが対円で上昇したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2023年1月11日～2023年7月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	116円	0.840%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、13,867円です。
( 投信会社)	( 57)	(0.409)	委託した資金の運用の対価
( 販売会社)	( 57)	(0.409)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
( 受託会社)	( 3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.022	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用)	( 2)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監査費用)	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印刷)	( 1)	(0.005)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
( その他1)	( 0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
( その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	119	0.862	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

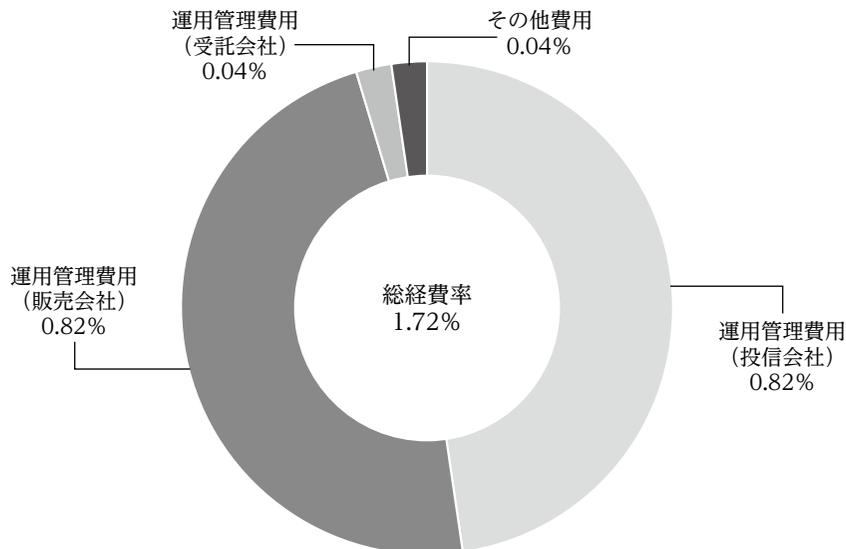
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2018年7月10日～2023年7月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年7月10日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2018/7/10	2019/7/10	2020/7/10	2021/7/12	2022/7/11	2023/7/10
基準価額	(円)	10,318	11,050	10,486	11,831	13,752	14,600
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	7.1	-5.1	12.8	16.2	6.2
純資産総額	(百万円)	20,129	20,316	14,063	10,153	9,824	11,774

\*当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### インド債券市場

インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

当（作成）期初から2023年2月にかけて、インフレの高止まりやインド準備銀行（RBI、中央銀行）の利上げなどを背景に、インド国債は短期ゾーンを中心に金利が上昇しました。しかし、3月に米国で銀行破綻が連続して発生し、景気後退懸念が強まると米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ停止観測が高まり米国金利が低下しました。これを受けてインド国債の利回りも連動して低下しました。6月以降はRBIが当面の引き締め環境の継続を示唆したことや、FRBが追加利上げを

示唆したことなどから、インド国債の利回りは上昇しました。

### 為替市場

インドルピーは、当（作成）期を通じて対米ドルでは概ね横ばいで推移しました。FRBによる金融政策に対する思惑を背景に米ドルは対主要通貨では一進一退となりましたが、原油価格が比較的安定していたことでインドの貿易収支が改善したことや、インド金融市場への資金流入などがルピーの支援材料となりました。一方、円安米ドル高が進行したことから、ルピーは対円では上昇しました。

## ポートフォリオについて

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当（作成）期は、金利上昇に備えるデュレーション戦略を継続し、短期債を購入しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）  
（毎月決算型）

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2023年1月11日 ～2023年2月10日	2023年2月11日 ～2023年3月10日	2023年3月11日 ～2023年4月10日	2023年4月11日 ～2023年5月10日	2023年5月11日 ～2023年6月12日	2023年6月13日 ～2023年7月10日
当期分配金 (円)	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率) (%)	0.533	0.517	0.526	0.516	0.505	0.495
当期の収益 (円)	35	44	36	45	45	39
当期の収益以外 (円)	9	0	8	—	—	5
翌期繰越分配対象額 (円)	1,018	1,018	1,010	1,012	1,019	1,015

（年2回決算型）

項目	第17期
	2023年1月11日 ～2023年7月10日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	5,559

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

### イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

インフレ率の鈍化やプラスの実質金利、製造業の減速などを背景に、RBIは当面政策金利を据え置くとみています。また、社債の対国債スプレッドは魅力的な水準にあり、長・短金利差が縮小していることから、当面は短期債に投資妙味があると考えています。今後、金利が上昇するような局面ではポートフォリオのデュレーションをさらに長期化させる方針です。引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

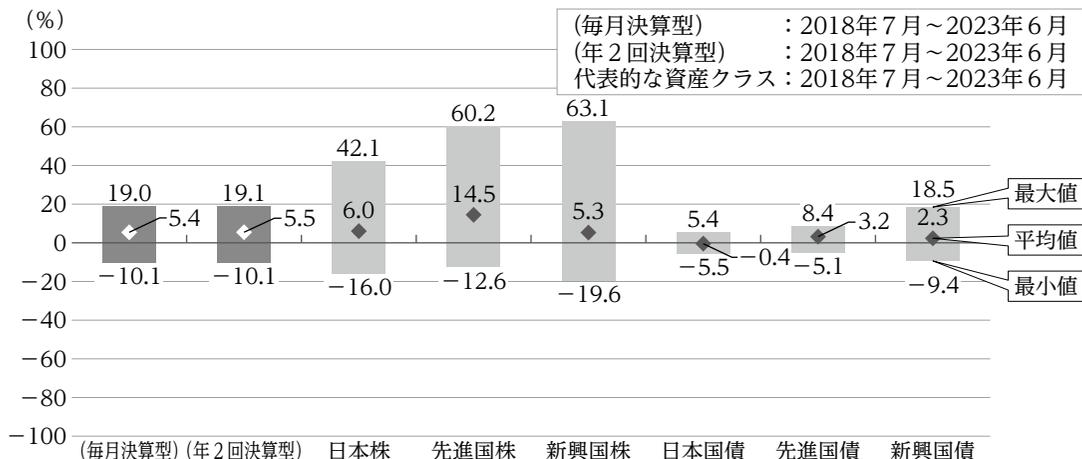
## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 2015年2月10日から2035年1月10日まで (年2回決算型)2015年4月10日から2035年1月10日まで	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日（休業日の場合は翌営業日） (年2回決算型)原則として、毎年1月10日および7月10日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	J PモルガンGBIグローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。
新興国債	J PモルガンGBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

(毎月決算型)

### 当ファンドの組入資産の内容

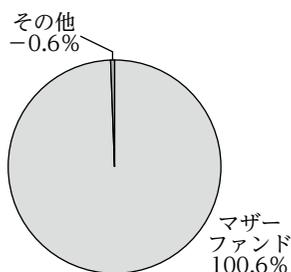
組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

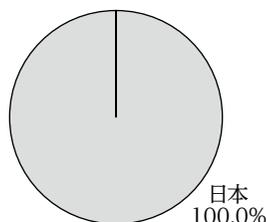
ファンド名	第100期末 2023年7月10日
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	100.6%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

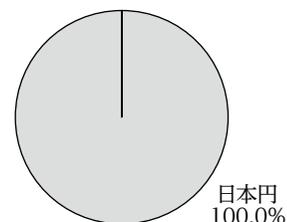
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	第95期末 2023年2月10日	第96期末 2023年3月10日	第97期末 2023年4月10日	第98期末 2023年5月10日	第99期末 2023年6月12日	第100期末 2023年7月10日
純資産総額 (円)	27,492,822,316	28,717,242,938	28,537,691,452	29,476,479,576	30,845,560,464	32,693,115,361
受益権総口数 (口)	32,754,072,932	33,153,884,149	33,563,554,555	34,005,785,687	34,773,666,176	36,168,932,960
1万口当たり基準価額(円)	8,394	8,662	8,503	8,668	8,870	9,039

\* 当作成期中 (第95期～第100期) において追加設定元本額は5,509,733,330円、一部解約元本額は1,634,385,754円です。

## ファンドデータ

(年2回決算型)

### 当ファンドの組入資産の内容

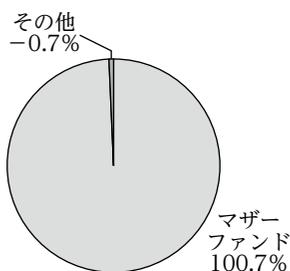
組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

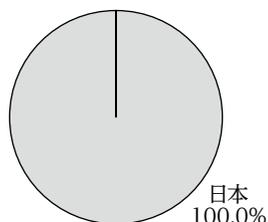
ファンド名	第17期末 2023年7月10日
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	100.7%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

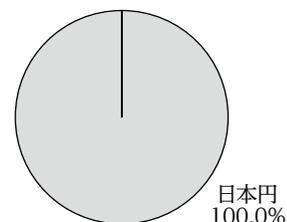
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

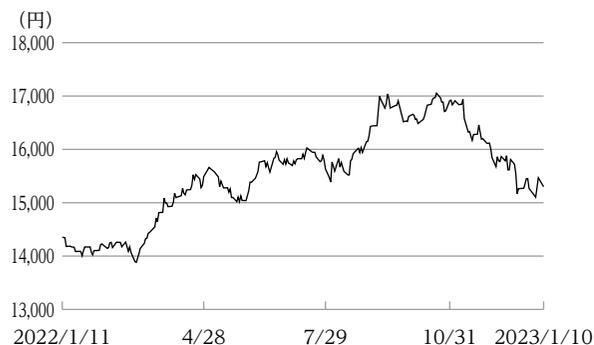
項目		第17期末 2023年7月10日
純資産総額	(円)	11,774,613,846
受益権総口数	(口)	8,065,078,428
1万口当たり基準価額	(円)	14,600

\*当期中において追加設定元本額は1,524,515,056円、一部解約元本額は406,530,616円です。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド>

基準価額の推移(2022年1月12日～2023年1月10日)

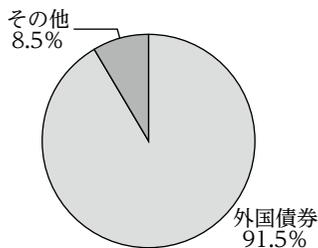


組入上位10銘柄 (組入銘柄数：48銘柄)

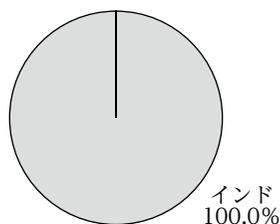
(2023年1月10日現在)

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
INDIA GOVT BOND	国債	7.4200%	2033/9/22	インド	13.6%
NHPC LTD	社債	8.1200%	2029/3/22	インド	5.7%
AXIS BANK LTD	社債	7.6000%	2023/10/20	インド	5.5%
INDIA GOVT BOND	国債	7.5700%	2033/6/17	インド	5.4%
PIPELINE INFRASTRUCTURE LTD	社債	8.9508%	2024/3/22	インド	4.7%
COASTAL GUJARAT POWER LTD	社債	9.7000%	2023/8/25	インド	4.4%
SIKKA PORTS & TERMINALS LTD	社債	7.9500%	2026/10/28	インド	4.4%
REC LTD	社債	8.3000%	2029/3/23	インド	3.4%
HOUSING & URBAN DEVELOPMENT CORP LTD	社債	6.6500%	2023/6/15	インド	3.3%
NATIONAL HIGHWAYS AUTHORITY OF INDIA	社債	7.7000%	2029/9/13	インド	2.4%

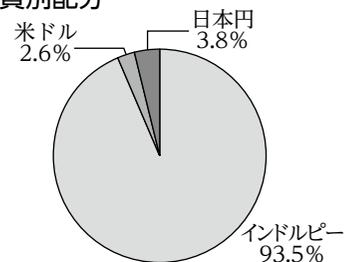
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 1 万口当たりの費用明細

(2022年1月12日～2023年1月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	6円	0.036%	(a) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、15,556円です。
(保管費用)	(5)	(0.029)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(1)	(0.004)	インドの税務代理人に対する手数料等
(その他2)	(0)	(0.002)	納税に係る費用
合計	6	0.036	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。